

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

大会主催 沖縄県壮年ソフトテニス連盟

代表者名会長 當山 全信

大会責任者 仲本 兼喜

1. 基本チェック

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 体温測定 | <input type="checkbox"/> 手指消毒の実施徹底 |
| <input type="checkbox"/> マスクの着用 | <input type="checkbox"/> 消毒設備の設置 |
| <input type="checkbox"/> 密の回避 | |

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための参加者整理の方法

① 密にならないための対策

- ・出場する選手以外の応援・観戦でのご来場は控えるようにする。
- ・受付時に並ぶ際、2m程度の間隔を空けるようにする。
- ・試合待機時は密集を避けるようにする。

② 発熱等の症状のある方の参加制限方法

- ・当日の朝、来場する前に各自で検温を行い、発熱や咳、頭痛等の症状がある方については、出場停止とする。

③ その他

- ・大会本部(クラブハウス)に体温計を設置し、必要に応じて計測できるようにする。
- ・開会式時の参列参加者は、参列間隔を取り、挨拶や注意事項等を略式化する。(アナウンスで行う等)

(2) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・コート内・外で他人と共有する物品(飲み物のキーパー等)は無くし、使い回しをしないで、個別で持参し対応するようにする。
- ・団体戦時の試合開始前にコート内で円陣を組まない事、また、試合終了後、選手間での握手は、禁止とする。

② 飛沫感染対策

- ・大会受付時テーブルの前に飛沫拡散防止の為スクリーンを設置する。
- ・試合中に大声での発声、応援、又は近接した距離での会話を原則行わないようにする。
- ・試合中以外は、マスク着用、対面での会話は避けるようにする。

(3) 施設の換気対策

- ・大会本部(クラブハウス)は常時、窓は二カ所以上空けておく。

(4) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・複数の人が触れる場所は適宜消毒を行い、ドアノブなどの高頻度に接触する箇所は、特に注意して消毒を行う。

(5) その他基本的な感染拡大予防策

- ・会場内に消毒液を設置し、手指消毒の徹底を呼びかける。
- ・こまめな手洗い・咳エチケットの徹底を呼びかける。特にトイレ手洗い場では、石鹸を必ず使用し手洗いを徹底する。
- ・大会本部放送にて3密対策のアナウンスを適宜行う。

3. 独自の感染予防対策

- ・感染者が発生した場合、参加者へ連絡を取る必要があるため、当日選手変更については、受付時に変更する参加者の名前を提出させる。もしチーム内に感染者が出た場合、チーム代表者は、活動を停止し、速やかに県連盟へ報告する。
- ・試合終了後は速やかに帰宅するよう協力を求める。